

資料4 戦略案に対する市民意見

1. 実施概要

「第2次札幌市ICT活用戦略（案）」について、「札幌市パブリックコメント手続に関する要綱」に基づき、市民の皆様からご意見を募集したところ、合計12件の貴重なご意見をいただきました。

以下、お寄せいただいたご意見と、そのご意見に対する札幌市の考え方を公表いたします。なお、お寄せいただいたご意見は、その趣旨を損なわないようにとりまとめ、要約しており、また、明らかに本戦略との関係性がない意見については、「4. パブリックコメント（意見）の概要とそれに対する札幌市の考え方」への掲載は控えさせていただいておりますことをご了承ください。

(1) 意見募集期間

令和7年（2025年）2月12日（水）から令和7年（2025年）3月13日（木）

(2) 意見提出方法

郵送、FAX、電子メール、持参

(3) 資料の配布・閲覧場所

- ・ デジタル戦略推進局スマートシティ推進部デジタル企画課
0RE札幌ビル8階（中央区北2条西1丁目1-7）
- ・ 市役所本庁舎2階 市政刊行物コーナー
- ・ 各区役所 総務企画課
- ・ 各まちづくりセンター

(4) 意見募集の周知方法

- ・ 札幌市公式ホームページ
- ・ 広報さっぽろ
- ・ 地上デジタルテレビのデータ放送
- ・ 札幌市公式LINE
- ・ 札幌市公式X（旧Twitter）
- ・ プレスリリース

2. パブリックコメントの内訳

(1) 意見提出者数及び意見数

意見提出者数 : 5人

意見数 : 5件

(2) 意見提出者の年代の内訳

年代	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	合計
人数	0人	0人	0人	1人	0人	2人	1人	1人	5人

(3) 意見提出者の提出方法の内訳

提出方法	郵送	FAX	電子メール	持参	合計
提出者数	1人	1人	3人	0人	5人

(4) 意見内容の内訳

戦略案の項目	件数	構成比
01. 総論	0件	0.0%
02. ICTを取り巻く状況の変化とICTに対する市民意識	2件	16.7%
03. ICTを活用したまちづくりや産業振興の経緯	0件	0.0%
04. 札幌市ICT活用戦略（2016年～2024年）	0件	0.0%
05. ICT活用に関する5つの課題	0件	0.0%
06. 基本戦略	5件	41.7%
07. ICT活用施策	3件	25.0%
08. 戦略の進捗管理	0件	0.0%
09. 戦略の推進体制	0件	0.0%
10. 関係資料	0件	0.0%
その他の意見	2件	16.7%
合計	12件	100.0%

※構成比の算出は四捨五入しているため、合計値と構成比の類型値は一致しない場合があります。

3. 意見に基づく変更点

意見の概要	札幌市の考え
アンケート調査では、個人情報の漏洩や個人情報の不正利用への懸念が多いことから、個人情報が適切に保護されるかという観点で情報セキュリティの対策が重要である。	行政・企業等が踏まえるべき「ICT活用の視点」に情報セキュリティ対策の強化を追加します。(P46)

4. パブリックコメント（意見）の概要とそれに対する札幌市の考え方

「02. ICTを取り巻く状況の変化とICTに対する市民意見」に関すること

意見の概要	札幌市の考え
グリーントランスフォーメーションの推進について、洋上風力発電の拡大は難しいと考えており、洋上風力発電の拡大が見込めないまま、データセンター事業を急激に拡大した場合、電力逼迫を引き起こし兼ねない。	電力は、暮らしと経済の基盤であるとの考えのもと、今後の電力需給状況に注視しながら、北海道内に豊富に賦存する再生可能エネルギーや水素といった脱炭素燃料の最大限の活用に向け、取組を進めてまいります。
高齢者・障がいのある方に対する調査は行っているのか。	デジタルに不慣れな市民の方の意見等を把握するため、市内10区で実施しているスマホ教室でのアンケート調査を実施しました。

「06. 基本戦略」に関すること

意見の概要	札幌市の考え
今後の少子高齢化の進行による職員の減少に対応し、効率化により余剰人員が出た場合は、サービスへの振替も想定している内容は良いと考えるが、施策を実行していくためには、人材の育成が重要と考える。	デジタル技術を活用し、効果的、効率的な行政サービスを提供していくことのできる人材を育成していくことは非常に重要と考えております。 そのため、「ICT活用の視点」のひとつに、「デジタル人材の確保・育成」を掲げ、行政課題

また、市民が使うシステムの入力画面については、デジタルに不慣れな方でも使いやすいものにするなど、人に優しいICT化を進めて欲しい。	を発見し、デジタル技術の活用により解決できるデジタル人材の確保と育成に努めていく考えです。 また、デジタルに不慣れな方にとっても使いやすいデジタルサービスを提供していくため、「ICT活用の視点」に「サービス利用者の利便性向上」を掲げており、札幌市のデジタル変革に向けては、「サービス設計12ヶ条」に基づき、市民や事業者の目線に立ち、利用しやすいデジタルサービスの構築を進めてまいります。加えて、デジタルに不慣れな方に対する支援として、デジタルデバイス対策にも取り組んでまいります。
アンケート調査では、個人情報の漏洩や個人情報の不正利用への懸念が多いことから、個人情報が適切に保護されるかという観点で情報セキュリティの対策が重要である。 セキュリティ対策を含み、ランニングコスト・経費の情報公開が必要と考える。	ICT活用を推進するにあたり、情報セキュリティ対策は大変重要な視点であると考えます。 いただいたご意見を踏まえ、行政・企業等が踏まえるべき「ICT活用の視点」に情報セキュリティ対策の強化を追加します。（P46） 情報公開については、市民に分かりやすく、丁寧な情報発信に努めます。
オープンデータと知る権利について、行政情報の検索が容易ではなく、情報にアクセスしにくい。 行政情報を積極的に公開するなど、情報にアクセスしやすくすることが必要。	本戦略では、「ICT活用の視点」のひとつにデータ利活用の推進位置付けており、オープンデータの取組を引き続き推進してまいります。また、企業・地域に需要が高いデータを可視化するなど、情報にアクセスしやすくする取組も進めてまいります。
クラウド第一原則の推進について、クラウド化はセキュリティリスクが高まることにつながり、ランニングコストの増	クラウドサービスを活用する場合は、整備、運用コストなどを比較検討し、最適なサービスになるよう努めるとともに、国のセキ

加にもつながる。 クラウド活用について、適切な情報公開が必要である。	ユリティに関するガイドラインや札幌市情報セキュリティポリシーに基づき、適切なセキュリティ対策が取られているサービスを選定します。また、情報公開については、市民に分かりやすく、丁寧な情報発信に努めます。
オープンデータを推進し、行政情報にアクセスしやすくすること、また、高齢者・障がい者にも便利でやさしく、住みよい、将来に希望をつなげる札幌市になることを期待する。	本戦略の基本理念に基づき、誰もが最適なサービスが受けられ、デジタルの利便性が実感できる「ひと」が中心のデジタル変革を進めてまいります。

「07. ICT活用施策」に関すること

意見の概要	札幌市の考え
医療的ケア児について、医療的ケア児支援法に「人工呼吸器」が加わったにも関わらず、看護学生は、優先度の高いケアを卒業前の実習で十分に学ぶことが困難な状況にあり、OJTでスキルを獲得している状況であるため、ICT（仮想化技術等）を活用して研修を充実するなど、DXが必要と考える。	本戦略は、ICTや先端技術の活用によりまちづくりの課題に対応していくことを目的としており、「ICT活用施策」では、市内企業等において、AIやXRなどの先端技術の普及、活用促進を図ることとしております。
ICT活用を進めるだけでなく、デジタルディバイド対策も進め、市民に寄り添うことが必要。	デジタルに不慣れな方を対象とするスマホ教室を実施するなど、デジタルディバイド対策に努めます。
老朽化しているインフラの整備にICTを活用するべき。	I C Tを活用し、行政サービスの高度化を進めるとともに、スマートシティの実現に向け、建設産業の生産性向上にも取り組んでまいります。

「その他の意見」に関すること

意見の概要	札幌市の考え
行政の縦割りについて、ICT活用はどのように寄与するのか。	ICTを有効に活用し、迅速かつ円滑な情報共有を図ることにより、行政事務の高度化、効率化を進めてまいります。